12月4日から10日は人権週間です

いっしょに考えよう

いのちの大切さ

Vol.3

～小さな命に出会えた喜び～

かけがえのない子どもの笑顔を守るには、周りの協力が大切です。

歌手・タレント

藤本美貴さんに聞く

次代の社会を担う子どもが、権利を尊重され、夢と希望を持ち、心身ともに健やかに育つことは、すべての人々の願いです。しかし、近年、核家族化や少子高齢化の進行などにより、人と人とのつながりが薄まり、地域では子どもを温かく見守る力が次第に弱まり、家庭においても養育や教育をする力の低下が見られます。

子育てに伴う喜びを実感できる社会が実現されるよう、子育てを社会全体で支えることが必要になっています。

今回は、歌手・タレントとして活躍する藤本美貴さんの体験から、家族や周りの人たちが子育てにどのように関わっていけばいいのか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

子育ては本当に大変。
話せる相手がいるだけで、
心に余裕ができます。

藤本 美貴（ふじもと みき）

1985 年生まれ、北海道滝川市出身。09 年にお笑い芸人の品川庄司の庄司智春さんと結婚し、12年3月に長男・虎之助くんを出産。産後から取り組み始めたグラヴィティヨガのインストラクターの資格を取得。現在は、NHK「あさイチ」、日本テレビ「PON!」、CBC「ゴゴスマ」にレギュラー出演中。13 年 11 月には藤本美貴さんがデザインアイデアを提案したベビーニットの作品集 朝日新聞出版『藤本美貴が編みたい！ミキティのかわいいデイリーベビーニット』を出版。

――出産を経験されたことで、日々の生活や気持ちに変化はありましたか？

子育てをする中で、「力を合わせてこの子を一生懸命育てる」というひとつの目標に向かうようになって、「これが家族なんだ」としみじみ実感するようになりました。そんな風に思わせてくれる子どもの存在は本当にかけがえがなくて、生まれてきてくれてありがとう、と心から思えます。

夫婦間はもちろん、お互いの家族との絆も深まった気がしています。

――子育てをしながら、どのようなことを心がけていますか？

旦那さんがもともとマメな人で色々とやってくれるんですが、何か助けてもらったときには、必ず「ありがとね」って言うようにしています。関係が近いからこそ、きちんと感謝の気持ちを伝えることが大切だと思うので。

男性は父親の自覚が生まれにくいとか、子育てに関わりにくいと言われます。だから私はあえて、はじめてのおむつ替えや沐浴も旦那さんにやってもらいました。旦那さんを子育てに巻き込むことで、私自身も楽になるし、きちんとお礼を言うことでお互いに気持ちよく過ごせますよね。

もちろん私も仕事がありますし、正直しんどいときもあります。でも、子どもの寝顔を見ていると、どんなに大変なことがあっても幸せになれます。寝ている子の匂いをかいだりチューしたり（笑）、スキンシップをいっぱい楽しんでいます。

――藤本さん流の子育てについて教えてください。何かルールはありますか？

子どもを叱るのは私の役目。旦那さんには〝ここぞ〟というとき以外は叱らないようにしてもらっています。というのは、子どもはお母さんのことが大好きでしょう？　私がどんなに怒っても私のことは一番好きなはず。ふだんあまり会えないお父さんが怒ってばかりだと、どっちもかわいそうじゃないですか。

それ以外、特に決まりごとはないですね。ダメなことはダメと叱りながらも、いまはのびのびと、いろんなものに触れてほしいと思っています。「服が汚れるからやらせない」ではなく、「泥だらけになってこい！」といった感じですね。

将来についても、本人の意思を尊重したいです。私自身、親から何かを強制されることもなかったし、歌手になりたいと言ったときにも反対されませんでした。その代わり、自分で決めたことなので頑張ることができたと思います。子どもにもそんな風に育ってほしいです。

――子どもたちの笑顔のために、大切なのはどんなことでしょうか？

妊娠後期にマタニティブルーになったんですが、その理由のひとつに、「虐待」への不安がありました。誰でも自分が虐待をするなんて思っていないはずなのに、虐待をしてしまうわけですよね。だから、すごく出産を楽しみにしている自分でも、可能性がないわけじゃないと思うと不安で。いまも子どもに手をあげる人の気持ちがわからなくはないです。でも、そこでいかに冷静になって立ち止まることができるかどうかですよね。

子育ては、一人でするには大変すぎます。そこで大切なのは、愚痴を言ったり相談したりできる相手がいるかどうか。私は妊娠中のときも、母や旦那さんに率直に不安をぶつけていました。親や旦那さん、友だち、誰でもいいんですけど、絶対に誰かいた方がいい。話すことで冷静になって心に余裕ができますから。私は「どうしてこうなんだろう？」と思うことがあると、ブログに書くこともあります。すると「うちもそうでしたよ」とか、「こうしたらいいよ」って反応がもらえるので、気持ちが楽になっています。子育てで追い詰められたとき、話を聞いてくれる人がいる。たったそれだけのことで、子どもの笑顔が守られることも多いんじゃないでしょうか。

世界人権宣言65周年記念

京都ヒューマンフェスタを開催しました

11月3日、人権や命の大切さについて理解を深めていただくため、みやこめっせ（京都市左京区）で「京都ヒューマンフェスタ２０１３」を開催しました。

開会挨拶

会場では、様々なNPO法人等の活動紹介や人権擁護啓発ポスターコンクール表彰式、藤本美貴さんのトークショーなどを行い、多くの方に来場していただきました。

NPO法人等活動紹介

メッセージツリーコーナー

さらに、今年は世界人権宣言が国連で採択されて65周年に当たることを記念し、宣言の意義や精神を再確認するとともに、一人ひとりの人権が尊重される社会を築いていくために共に努力をしていくことを決意し、京都府知事・京都市長・京都地方法務局長・（公財）世界人権問題研究センター理事長の4者による「世界人権宣言65周年京都アピール」が発表されました。

また、NPO法人の共同企画として、「あなたは大切な人・私は大切な人」をテーマにメッセージを書くことで、来場していただいたみなさんに人権について考えていただくメッセージツリーコーナーを設置しました。

同時に、第1回ユニバーサルデザイン府民フォーラムや、生命（いのち）のメッセージ展、世界人権宣言をテーマにした人権フォーラムなども開催し、人権について幅広く学び、思いの一日を過ごしていただきました。

このイベントに参加された方もされなかった方も、この「人権週間」を機会に、思いやりや命の大切さについて考えてみませんか。

＜同時開催事業＞

生命のメッセージ展

ユニバーサルデザイン府民フォーラム

世界人権宣言 65 周年京都アピール

第二次世界大戦の戦禍の反省に基づいて、1948（昭和 23）年 12 月 10 日、国際連合の第 3 回総会で「世界人権宣言」が採択されました。今年は、その記念すべき年から数えて 65 周年に当たります。「基本的人権、人間の尊厳及び価値並びに男女の同権についての信念を再確認し、かつ、一層大きな自由のうちで社会的進歩と生活水準の向上とを促進する」決意を表明し、「すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつ尊厳及び権利について平等である」と謳ったこの宣言は、今もなおあざやかです。

～ 中 略 ～

「人権の世紀」といわれる 21 世紀は、「人権文化」を輝かせる時代です。「人権文化」は、「いのちの尊厳を自覚し、人間が人間の幸せを自然と共に営み、新しい歴史と文化を共に生んでいく、その行動と実り」であり、私たちは、家庭・学校・職場・地域に根ざした「人権文化」を実らせていかなければなりません。「世界人権宣言」の 65 周年に当たり、この宣言の精神とその意義を再確認し、自然と人間、そして人間のすべてが共生し、自由・正義・平和にあふれた社会の実現を共に目指していきましょう。

2013（平成 25）年 11 月 3 日

京都府知事　山田 啓二
京都市長　門川 大作
京都地方法務局長　吉岡 慶治
公益財団法人世界人権問題研究センター理事長 上田 正昭

アピールの全文は京都府のホームページを御覧ください。 HP http://www.pref.kyoto.jp/jinken/

京都府からのお知らせ！

12月3日～9日　障害者週間
12月4日～10日　人権週間
12月10日～16日　北朝鮮人権侵害問題啓発週間

人権擁護委員による特設相談日程

京都府では、毎日の生活の中で差別や虐待、いじめ、その他人権に関する問題について思い悩むことがある場合に、気軽に相談できる場所として、人権擁護委員による特設相談を開設しています。

※京都市・乙訓会場は予約が必要です（電話 075-414-4235）。その他の会場については予約は不要です。
■京都市消費生活総合センターでも特設相談を開設しています。
12/26（木）・1/23（木）午後１時～午後４時（予約が必要）
予約・お問い合わせ
（電話 京都いつでもコール 075-661-3755）

地域区分	月日	開設場所
京都市・乙訓※	12/12（木）・1/9（木）	京都府庁１号館府民総合案内・相談センター（京都市上京区）
山城	12/19（木）	京都府田辺総合庁舎（京田辺市田辺明田）
	1/16（木）	京都府木津総合庁舎（木津川市木津上戸）
南丹	12/5（木）・2/6（木）	京都府園部総合庁舎（南丹市園部町小山東町）
	1/9（木）	京都府亀岡総合庁舎（亀岡市荒塚町）
中丹	12/3（火）・2/4（火）	京都府綾部総合庁舎（綾部市川糸町）
	12/5（木）・1/9（木）	京都府舞鶴総合庁舎（舞鶴市字浜）
	1/7（火）	京都府福知山総合庁舎（福知山市篠尾新町）
丹後	12/11（水）	京都府宮津総合庁舎（宮津市字吉原）
	1/8（水）	京都府峰山総合庁舎（京丹後市峰山町丹波）

KBS京都ラジオ 人権啓発ラジオ番組「ほっかほか人権情報」

「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」（6:30 ～ 10:00）の間の 9:35 ～ 9:45 の 10 分コーナーとして、人権に関する情報や、地域で人権問題に取り組む個人・団体の活動状況を、番組パーソナリティとゲストの対談形式で発信します。

【放送日・出演者】

放送日	出演者
12月4日（水）	ＮＰＯ法人福祉工房Ｐ＆Ｐ 事務長 岡村俊裕
5日（木）	ＮＰＯ法人希少難病患者支援事務局 山口記世
6日（金）	ＮＰＯ法人恒河沙（ごうがしゃ）理事長 福島美枝子
9日（月）	東九条マダン 実行委員 梁説（ヤン・ソル）
10日（火）	武蔵野大学教養教育部 教授 佐藤佳弘

α-Station「Voice To You」人権週間スペシャル

音楽アーティストが自らの体験から「人権」に関わるメッセージを伝える番組「Voice To You」（毎週木曜日 22:05 ～放送中）を、人権週間スペシャルとして明日から４夜連続で放送します。
出演アーティストは、2日（月）風味堂、3日（火）安藤裕子、4日（水）矢沢洋子、5日（木）Pia-no-jaC です。

『「世界がひとつの家族のように」広め隊』が出演します！

下記のイベントで、学生ボランティアが地元の合唱団と一緒に人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」を歌います。ぜひ足を運んでください。

●**第 36 回障がい者児の人権を考える市民のひろば・人権を考えるつどい**
開催日：12 月 7 日（土）／場所：長岡京市立中央公民館
●**あやべ人権フェスタ 2013**
開催日：12 月 15 日（日）／場所：綾部市Ｉ・Ｔビル

12月10日～16日 北朝鮮人権侵害問題啓発週間 －すべての拉致被害者の救出を！－

北朝鮮による拉致問題は、国民の生命と安全に関わる重大な人権問題であり、拉致被害者ご家族の高齢化が進み一刻の猶予も許されない状況です。皆さんの声が特定失踪者を含む全ての拉致被害者の救出につながります。署名活動へのご協力をお願いいたします。詳しくはホームページをご覧下さい。

HP 京都府ホームページ
http://www.pref.kyoto.jp/somucho/

●拉致問題に関する問い合わせ先
京都府総務部総務調整課
京都市上京区下立売通新町西入薮ノ内町
TEL:075-414-4032　FAX:075-414-4048

» 問い合わせ先
京都府府民生活部人権啓発推進室
京都市上京区下立売通新町西入薮ノ内町
TEL：　075-414-4271
FAX：　075-414-4268
MAIL：jinken@pref.kyoto.lg.jp